

# 病棟・外来・在宅へとつながる医療・看護の方略

2015年11月22日 8:30-10:00

神戸国際会議場 第1会場（メインホール 1F）

〒650-0046 神戸市中央区港島中町 6-9-1 TEL078-302-5200

【座長】神崎初美（兵庫医療大学看護学部療養支援看護学）

三浦靖史（神戸大学大学院保健学研究科リハビリテーション科

学）

【シンポジスト】

北海道釧路におけるリウマチ医療連携

たばた なおこ

田端 多良子 医療法人社団三慈会釧路三慈会病院

長崎県北部におけるリウマチ医療連携「ララサークル」

かとう ようこ

加藤 陽子 社団医療法人財団白十字会佐世保中央病院

病院と在宅をつないでいるケアマネージャーの立場から

ながさか み はる

永坂 美晴 望海在宅介護支援センター（明石市）

病院と在宅をつないでいる訪問看護師の立場から

みはら あやこ

三原 綾子 訪問看護ステーションめいかい（明石市）

医療費の高騰化や社会の変化に伴い、病院医療から外来や地域在宅医療への移行、それに伴うチーム連携へ期待が高まっています。しかし、現状では各地に数々の課題が山積みされており、リウマチ医療においても適切な医療や看護が受けられない患者がまだまだ存在し、医療従事者もどのように連携したらよいのか困っている例が多く見られています。

今回は、日本臨床リウマチ学会の宗園聡会長のご支援を頂き、看護シンポジウムをメインホールで開催させていただけることとなりました。看護の立場からの現状や課題、その解決策としてどのように実践しているかについて演者の皆様に講演いただきます。会場の皆様と活発な討議が行えるよう、たくさんの方々のご参加をお待ちしております（神崎初美）。

